



MARITIM HOTEL PLAZA TIRANA

ティラナの心臓部、スカンデルベグ広場から望むマリタイム ホテル プラザ ティラナ「Maritim Hotel Plaza Tirana」。スイートを含め190室を擁す23階建ての市内屈指の超高層ホテルで、2015年に市内中心部にオープンして以来、ティラナを代表するホテルとして認知されている



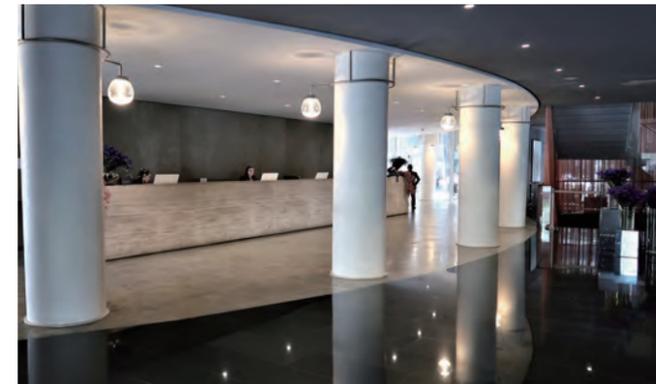
アサインされた「Superior Room」から俯瞰するティラナ市内の全貌。建設中のグレートモスク「Great Mosque of Tirana」をはじめエキゾチックな街並みが、日本から遙か遠くまで来た旅情を誘う



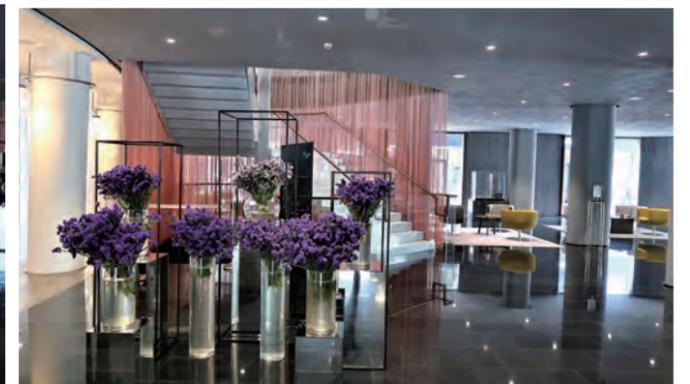
かつての迎賓館ホテル「Tirana International Hotel」からアルバニア国旗が翻る国立オペラハウスを望む。背後にホテルプラザの超高層ビルが確認できる



23階建ての市内屈指の超高層ホテル「Maritim Hotel Plaza Tirana」の特異な外観



「Maritim Hotel Plaza Tirana」のスタイリッシュなレセプションデスク



ゴージャスなエントランスホール。以前は「The Plaza Tirana」と称していたが、2019年にドイツの「Maritim Hotels」の傘下に入って現在のホテル名に変更している



筆者 **小原 康裕**
国際ホテルジャーナリスト

慶応義塾大学法学部法律学科卒業
投資顧問会社 Haraken & Co.,Ltd. CEO
JHRCA 日本ホテルレストランコンサルタント協会専務理事
JARC 宿泊施設関連連合会
アドバイザーボードメンバー
SKAL International Tokyo,
Professionnels du Tourisme 会員

www.jhrca.com/worldhotel/?cat42
www.hoteresonline.com
https://www.facebook.com/yasuhiro.obara.16

New Site (随時更新中)
www.wlhj.jp

Maritim Hotel Plaza Tirana

マリタイム ホテル プラザ ティラナ「Maritim Hotel Plaza Tirana」は2015年に市内中心部にオープンして以来、ティラナを代表するホテルとして認知されている。以前は「The Plaza Tirana」と称していたが、2019年にドイツの「Maritim Hotels」の傘下に入って現在のホテル名に変更している。Maritim Hotelsは1967年に創業し、ドイツ全土と欧州近隣諸国にマリタイムホテルの近代的なプロパティを多数展開している。アルバニアという特殊な風土と過去の歴史を踏まえて、このようなスタイリッシュなホテルが誕生したとは驚

きと共に時代の流れを感じる。一方、政府御用達だった迎賓館ホテル「Tirana International Hotel」は市内中心広場に位置する屈指の格式を誇ったが、共産国家時代の停滞した運営が色濃く残り、今はその座をホテルプラザに譲っている。

日本人にとってアルバニアは不可解な神秘的な国であろう。15世紀よりオスマントルコの支配下にあり、第二次大戦後は強固な共産主義国家となり、西側諸国はもちろん、ユーゴスラビア、ソ連、中国といった社会主義、共産主義国とも価値観の違いから次々と距離を置くようになり、ついには鎖国で国を閉ざしてしまう。特筆すべきは、その共産主義体制だ。1961年からは「ソ連修正主義」を非難



エレガントな雰囲気のあるメインダイニング「Convivium」はアルバニア屈指のフレンチの名店だ



ワインリストは世界各国の銘柄を取り揃え、ディナータイムのみ営業している



オープンエアの空間がお洒落なイタリアンクイジーヌの「Panevino」



カクテルやデザートプレートも豊富で、地元のセレブリティが集まる人気店だ



豊富なメニューを揃えたブレックファーストルームの「Savor Restaurant」



テーブルセッティングも非常にスマートだ

し、国民皆兵制度を敷き国土防衛を強化して中国にも接近していく。さらには「中国文化大革命」に刺激されて、宗教の完全否定宣言にまで暴走し、結局は欧州一の最貧国と称されるまでに孤立していく。アルバニア人は誇り高き民族ゆえ、とことん独自路線をゆく“なぞの民族”として日本でも知れ渡っていく。

ホテル プラザはスイートを含め190室を擁す23階建ての市内屈指の超高層ホテルで、西側ヨーロッパ諸国のホテルと何ら遜色がない。今回は代表的な「Superior Room」をご紹介します。木目とガラスを多用したスタイリッシュな約40㎡の部屋で、窓から市内のエキゾチックな風景を望める。レストランは充実しており、三つのタイプ

の違うレストランを用意している。メインダイニング「Convivium」はエレガントなフレンチ。オープンエアの空間がお洒落なイタリアンの「Panevino」。そして豊富なメニューを揃えたブレックファーストルームの「Savor Restaurant」がある。スパ施設「Oblivion」は600㎡の広さを誇り、ジャグジーバスのほか、足踏みプールなど市内屈指の設備だ。

アルバニアはヨーロッパ唯一のイスラム国家で、その人口は、国内に300万人、隣国コソボは180万人のうち90%がアルバニア人と言われる。これが、コソボ紛争の一因となっていく訳だ。現在は民主化されEU加盟希望国として待機中で、机上で習う貧困の歴史と、発展した現実の姿とのギャップに戸惑う。これが旅の醍醐味と言うものであろう。



ホテル プラザの代表的な客室である「Superior Room」。木目とガラスを多用したスタイリッシュな約40㎡の部屋で、窓から市内のエキゾチックな風景を望める。「Maritim Hotels」は1967年に創業し、ドイツ全土と欧州近隣諸国にマリティムホテルの近代的なプロパティを多数展開している



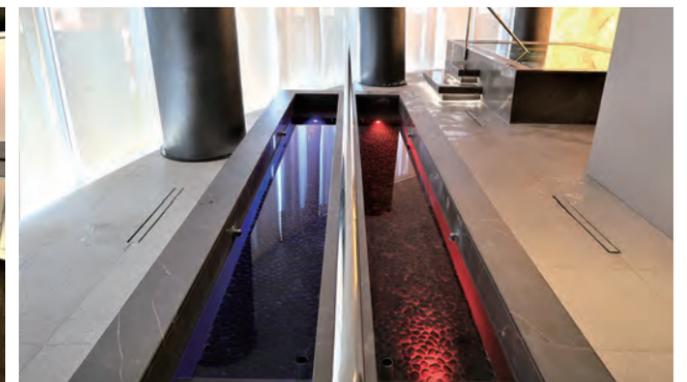
アルバニアという特殊な風土と過去の歴史を踏まえて、このようなモダンなホテルが誕生したとは驚きと共に時代の流れを感じる



コンパクトにレイアウトされたバスルーム。曇りガラスの奥はビデを付帯したトイレレットルーム



スパ施設「Oblivion」のレセプションデスク



600㎡の広さを誇り、ジャグジーバスのほか、足踏みプールなど市内屈指の設備だ